

第 41 回学術講演会（ファジィフロント）のご案内

日本ファジィ学会では、下記の通り、データマイニングに関する講演会を開催致します。特に、経営データからどう有用な知見を引き出すかを焦点とし、基礎・応用それぞれ最先端の研究内容に関し、分かり易くご講演を頂けることと思います。どなたでもご自由に参加できますので、当日直接会場までお越し下さい。

主催：日本ファジィ学会関東支部

日時： 2002 年 1 月 23 日（水）14：00～17：00

会場： 明電舎 大崎会館

J R 大崎駅下車徒歩 10 分、品川区大崎 2-5-35

TEL:03-3492-8701

行先地図 <http://fuzzy.ele.eng.tamagawa.ac.jp/skb/map.html>

参加費： 500 円(資料代)

講演スケジュール

14:00 15:30 「データマイニングの考え方と特色」

岩崎学 氏（成蹊大 工学部経営・情報工学科）

講演概要：

近年のコンピュータの大容量化とネットワークの発展によって、大量のデータの蓄積によるデータベースの構築に加え、それらへのアクセスが容易になり、大量データの解析の必要性が増して来た。データマイニングは、いわゆるデータベースからの知識発見のための方法論として、近年脚光を浴びている。演者は統計学者として統計的データ解析に携わってきたが、本講演では、従前の統計的データ解析とデータマイニングの類似性並びに相違点を概説すると共に、種々の分野への適用例を示す。また、マイニング用のソフトウェアについても触れる。

15:30 16:00 休憩時間

16:00 17:00 「データマイニングを用いた信用リスク管理の自動化」

西川武一郎 氏（東芝 研究開発センター）

講演概要：

有望な企業に優先的に資金を流して企業活動を支えることは金融の重要な機能である。特に最近は倒産件数が多く、優良企業の選別は金融機関の存亡にも関わる重要な問題になって来ている。ここでは、財務データをもとに企業の倒産確率を推定し、これをもとに最適な与信ポートフォリオを提案する方法について紹介する。信用リスク評価は金融機関だけの問題ではなく、一般企業における取引先管理の問題としても重要であり、この観点からの紹介も行う。

講師紹介

○岩崎学 氏:(成蹊大 工学部経営・情報工学科)

1952 年生まれ．東京理科大学大学院理学研究科数学専攻修士課程から茨城大学工学部，防衛大学校数学物理学教室を経て現在に至る．理学博士．専門は統計的データ解析，特にコンピュータ利用の多変量解析法．

日本統計学会理事，評議員，応用統計学会理事，評議員，編集委員など統計関係の学会の役職多数．厚生労働省中央薬事審議会専門委員．

○西川武一郎 氏 ((株)東芝 研究開発センター):

1993 年大阪大学理学研究科後期 課程卒業、同年、東芝研究開発センター入社．入社以来、ニューラルネット ワークシミュレータ、LSI コンパクト、論理再合成などの研究に従事。特に数理計画法や、グラフ理論などを使った最適化手法の適用を行ってきた．現在、データマイニングを利用したリスク評価技術の研究にあっている．

問い合わせ先：

愛須英之

(株)東芝 研究開発センター

E-mail:hideyuki.aisu@toshiba.co.jp

Tel:044-549-2408